

原発の再稼働「賛成」が48%、「反対」を大きく上回る 世論調査

図解あり

野原大輔 社会 | 政治 | 経済 | 速報

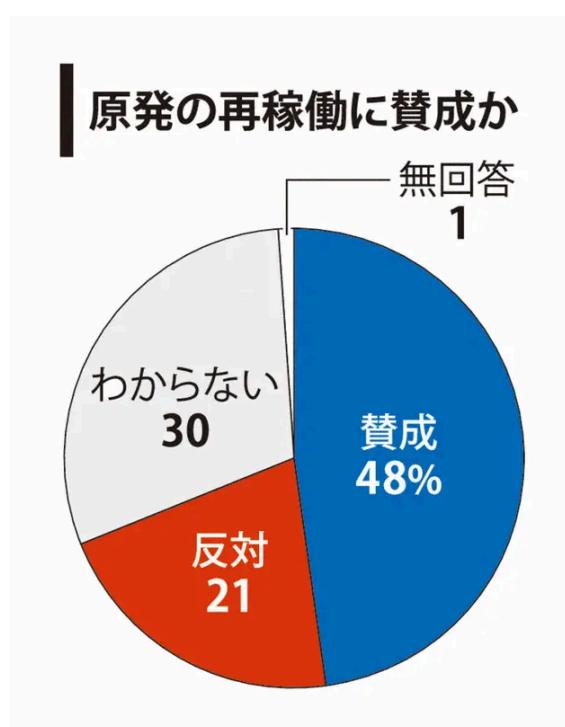
毎日新聞 | 2025/12/26 07:15(最終更新 12/26 10:02) 820文字



新潟県の東京電力柏崎刈羽原発の（左から）5、6、7号機＝新潟県柏崎市、刈羽村で2025年11月7日午前10時半、本社機「希望」から

毎日新聞が20、21日に実施した世論調査で、原発の再稼働について尋ねたところ、「賛成」が48%で、「反対」（21%）を大きく上回った。3月に同様の質問をした際の「賛成」（41%）よりも7ポイント上昇しており、有権者の中で再稼働の容認が広がっているとみられる。

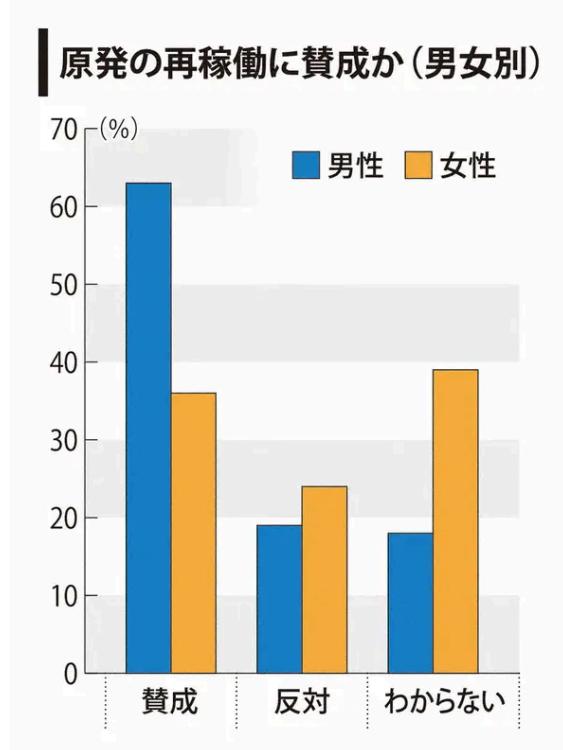
原発を巡っては、新潟県の花角英世知事が11月、県内にある東京電力柏崎刈羽原発の再稼働の容認を表明。北海道の鈴木直道知事も今月、道内の北海道電力泊原発の再稼働に同意するなど再稼働の動きが広がっている。特に柏崎刈羽原発が再稼働すれば、東電ホールディングスにとって東日本大震災に伴う福島第1原発事故以来、初の再稼働となる。



原発の再稼働に賛成か

調査方法が異なるので直接比較はできないが、2023年3月の調査で原発再稼働を進めることに「賛成」は49%あったが、24年3月には36%に落ち込み、「反対」（45%）を下回っていた。同年1月に死者・行方不明者700人の人的被害をもたらした能登半島地震が発生し、原発事故のリスクが再認識された影響とみられる。その後、現在と同じ調査方法で行った今年3月は「賛成」が41%となり、「反対」（29%）を上回った。

再稼働の動きやその容認の広がりは、電気代の高騰などが背景にあるとみられる。ただ、今月の調査を男女別にみると、男女ともに賛成が反対を上回っているものの、男性の「賛成」



原発の再稼働に賛成か（男女別）

63%に対し、女性は36%にとどまった。年代別では、どの年代も50%前後が「賛成」だが、「反対」については、18~29歳が15%、30代が13%、40代が17%、50代が20%、60代が21%、70歳以上が31%と高齢層ほど高くなる傾向にある。女性や高齢層ほど安全面に不安を持っている様子がうかがえる。

また、「わからない」と回答した人が全体の30%に上っており、再稼働の賛否に迷っている有権者も多い。原発の再稼働を進めるためには、多くの人が納得、安心できる安全対策が必要となる。【野原大輔】

毎日新聞のニュースサイトに掲載の記事・写真・図表など無断転載を禁止します。著作権は毎日新聞社またはその情報提供者に属します。

画像データは（株）フォーカスシステムズの電子透かし「acuagraphy」により著作権情報を確認できるようになっています。

Copyright THE MAINICHI NEWSPAPERS. All rights reserved.